

令和5年度 学校評価 (中間評価)

本年度の重点目標		○児童生徒の主体的な活動の推進及びその指導法の改善 ○保護者や地域との連携に基づく教育の充実 ○地域のセンター的機能の充実	
項目担当	重点目標	具体的方策	中間評価
総務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の充実</li> <li>・校内掲示板や広報活動の充実</li> <li>・PTAなど関係諸機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検を定期的に行い、よりよい環境で仕事ができるよう努める。</li> <li>・見やすい学校だよりや校内掲示を作成する。</li> <li>・PTAとの連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システム(グループウェア)や朝礼などで安全点検を周知した。点検に時間がかかることもあったが、職員や生徒が安全に過ごせるよう努めることができた。</li> <li>・部だよりなど重複した内容がないか、必要な情報は何か精査し、見やすく、親しみやすいレイアウトで発行ができた。</li> <li>・PTAの運営がスムーズに行えるよう、印刷や配布など教頭と連携して行うことができた。</li> </ul>
教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に基づいた指導と評価の一体化の充実</li> <li>・校内支援システム活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画、個別の指導計画作成において、自立活動の目標を明確にし、指導、評価につなげる。</li> <li>・学習内容の連続性・系統性を検証し、指導内容表に反映するとともに具体的指導や評価をまとめる。</li> <li>・出席簿等の運用を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成において自立活動では学校生活全体での指導を軸においた目標立てが多く見られた。引き続き、他教科との関連性を踏まえた指導・評価の意識を高めていきたい。</li> <li>・個別の指導計画の様式及び記載方法について、情報収集や意見の集約を行った。変更点を2学期中に検討し、周知していきたい。</li> <li>・校内支援システムについて他校の情報を収集し、情報部と連携を図りながら進めている。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な通学環境の整備</li> <li>・防災、防犯体制の充実</li> <li>・いじめ、不登校の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス12コースの安全管理、運行の適正化に努める。</li> <li>・交通安全指導を徹底し、事故防止に努める。</li> <li>・防災、防犯体制を周知し、共通理解、意識向上を図る。</li> <li>・職員で共通理解を図り、組織で対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ねスムーズに運行できている。来年度のコース数に対応して早くから計画を立てていく。</li> <li>・高等部の自転車通学生で軽微な事故があった。一宮警察署と連携しながら交通安全指導を進めていく。</li> <li>・訓練については予備日を設けるなどして、予定どおり実施できた。気象警報等による対応については10月に改訂を行い、職員、保護者に周知した。</li> <li>・高等部で友人関係でのトラブルがあった。重大事案に繋がらないよう関係教員で連携をしながら取り組むと同時に未然防止、早期発見に努めていく。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部から高等部までの組織的、系統的なキャリア教育の推進と充実</li> <li>・卒業後の生活を見据えた地域との連携と充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板等の情報発信を充実させ、ニーズに応じた情報を提供して、保護者の進路指導に対する意識を高める。</li> <li>・職員に対しての本校進路指導の流れの周知、ビジネスマナーの確認等の機会を設ける。</li> <li>・他分掌と連携し、早期から児童生徒の抱える課題を関係諸機関と情報共有し、地域の支援体制を整える。</li> <li>・雇用予定のある企業を積極的に開拓し、生徒に合った職域の確保をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動式のパンフレットラックを活用して事業所情報は提示することができた。進路デイズが開催できなかったことを含め保護者への情報発信の方法を検討する。</li> <li>・初任教員に対して進路指導の流れやビジネスマナーを実施した。複数の機関より、生徒や職員への講話や勉強会の提案もいただいている。</li> <li>・職場開拓による協力企業が増え、体験実習や雇用の検討につながられている。</li> </ul>

保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康づくりの推進</li> <li>・安全教育の推進</li> <li>・安全環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室経営の充実を図り、学校保健活動の中心としての役割を果たす。</li> <li>・メンタルヘル스에課題を抱える児童生徒に対し、校内の関係職員や学校医・外部の関係機関などと連携して対応にあたる。</li> <li>・食物アレルギーのある児童生徒に対する適切な給食提供や対応について全教職員間で共通理解を図る。</li> <li>・児童生徒の健康観察を徹底し、異常がみられた場合の対応を周知し安全・安心な学校生活を送れるようにする。</li> <li>・全職員による学校施設設備管理の充実を図り、安全できれいな学校づくりを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる児童生徒について、保健室利用した際に担任や学年職員に伝え、連携して対応ができた。</li> <li>・食物アレルギー等の給食提供について校務支援システム等で周知を図ったが、共通理解までに至っていない。</li> <li>・健康観察カードを通じて日頃から健康観察がしっかりとされていた。けがが起きたときの対応についてその都度対応できた。</li> <li>・校舎の長期寿命化工事があり、安全な学校環境の整備が難しい場面もあったが、その都度連絡をしっかりと行えた。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校研究が円滑に進むようにする。</li> <li>・本校が会場となる研修会を効率よく実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は各先生方に各々のICTに関わる目標を年度初めに立ててもらい取り組んでいる。研究日を利用して数人の先生に講師をお願いして学習会も行った。2学期以降は各自の目標の達成に向けて進めていけるとよい。</li> <li>・1学期に行われた研修会では日程を工夫し、駐車場や実施場所の問題に対応した。今後の研修についても、問題なく実施できるよう計画していく。夏季休業中に実施した外部講師を招いた現職研修はWeb会議システムを使うなど工夫して行うことができた。</li> </ul>
視聴覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚機器の有効利用の推進</li> <li>・図書室を児童生徒、職員が利用しやすい環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚準備室や視聴覚機器を使いやすく整備する。</li> <li>・閲覧スペースの環境整備を行う。</li> <li>・新しい図書を購入し、児童生徒の指導に役立つ図書を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報部と連携し、児童生徒一人一台タブレット端末の保管場所として視聴覚準備室を使用しやすくするため整理を行った。</li> <li>・計画的に蔵書点検を実施した。また、効率的な管理を目指してDVD等にもバーコードを付けるようにする。</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の情報活用技能及びセキュリティ意識の向上</li> <li>・情報モラル教育の充実</li> <li>・GIGAスクール構想によるICTの活用のサポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員用タブレットパソコン等の利用について、有効的な活用方法を提案するとともに、トラブル等への日常的なサポートを行う。</li> <li>・担任や学年、生徒指導部棟との連携を密にして、情報モラル教育を進めていく。</li> <li>・児童生徒一人1台タブレット端末の利用環境や利用規定を整備する。</li> <li>・学校HPを更新し、充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に教員に向けてパソコン等の設定やプリンタも含めた機器の利用に際して、適切なサポートができた。</li> <li>・保護者や生徒に向けた情報モラルアンケートを実施した。アンケートの結果を担任等と共有したり、保護者に紙面で配付したりした。</li> <li>・児童生徒の一人1台タブレット端末の使用について、全教職員の意見を反映させながら、利用規定の整備を進めている。</li> <li>・適時、HPを更新することができた。ページを見やすくするように整備を進めている。</li> </ul>
教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内支援の充実</li> <li>・センター的機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけで解決が難しい問題に対して、チームで解決を図れるような体制を整える。</li> <li>・地域の小・中学校の保護者や教員を対象に、たんぽぽ相談や支援指導検討会、巡回相談等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを積極的に利用することで、専門的な支援や情報を得ることができている。今後も関係職員や校外の専門機関と連携を図っていきたい。</li> <li>・たんぽぽ相談（夏季、出張を含む）や支援指導検討会、巡回相談を行った。教育支援部全員で業務に携わり、事後には情報交換の場を設けている。今後も必要な情報は共有し、相談担当者のスキルアップを目指したい。</li> </ul>

自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動に関する情報の収集と発信</li> <li>学習指導支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の指導内容や支援の方法について、情報を収集、紹介することで、教職員の自立活動に対する意識を高め、保護者への理解と協力を求める。</li> <li>自立活動の教材・教具を研究、整理し、授業等で有効活用できるよう紹介する。</li> <li>チェックシート、流れ図、個別の年間指導計画の作成手順を共通理解し活用できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会「じかつラボ」を開催した。今後も長期休業等に研修会を開催し、職員の専門性を高めたい。また、通信で情報を発信した。今後も保護者、職員のニーズに合った情報を発信したい。</li> <li>教材・教具展で教材・教具や取組について引き続き紹介していく。</li> <li>チェックシート、流れ図について書式を変更し、作成手順など伝達した。活用方法についてマニュアルや通信で周知し、定着を図る。</li> </ul>
小学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣や日常生活における基本的な力の育成</li> <li>家庭と連携した安全で安心な支援体制作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達段階を自立活動のチェックリスト等を活用して捉え、個々の指導計画を基に、学校生活全般の中で指導を行う。</li> <li>毎日の健康観察、目を離さない行動観察を継続し、体調不良やけが等の家庭への確実な情報提供や情報収集を図り、安全な支援体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の指導を軸に、学年会やケース会等で児童の実態、指導内容を共有しながら、指導を進めている。</li> <li>部会、学年会、朝礼等を利用して職員間で情報共有し、保護者により安心感を与えられる体制づくりができるように意識をしている。</li> </ul>
中学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の育成及び社会生活を営む上での基礎的な能力の向上</li> <li>生徒全員が「分かった」「できた」「やってみよう」と思える授業づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や返事、ルールや約束事の意識、相手を思いやる気持ち等の育成を家庭と連携を密に図りながら、学校生活全般を通して指導する。</li> <li>生徒の実態や障害の特性に合った題材や単元を考えたり、ICTを始めとした教材・教具の工夫や環境整備をしたりすることで生徒自身が課題を理解し、自分から取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の学校生活、又は実践を通じた教師や友達との関わりの中で、場面や状況に応じて挨拶や返事、ルール等について適切に伝えていくことでそれぞれの生徒の意識が高まっている。</li> <li>生徒たちの実態について学年の教師間で情報を共有することで、生徒達の興味関心や実態に即した課題を設定し、自ら取り組む姿が見られた。</li> </ul>
高等部	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立と社会参加を実現する力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後の生活を見据え、自立活動の視点を踏まえて、生徒一人一人の課題や適性に合った支援を進める。</li> <li>学校生活におけるさまざまな行事や活動を通して、主体的に学び、課題を解決していく力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の時間における指導が三年目に入り、各生徒が卒業後の生活を見据えた課題を意識し、改善に向けて意欲的に活動に取り組んでいる。</li> <li>コロナウイルスによる制限が緩和され、部全体で行う従来形式での行事が可能となった。また、運動会を一宮市総合体育館で行う新しい取組を取り入れるなど、生徒が活躍できる場を多く設定し、主体的な活動を促すよう努めている。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔のある安全・安心な学校づくり</li> <li>卒業後を見据えた、継続性・系統性を考慮した教育活動の推進</li> <li>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止に関する取組</li> </ul>		

#### 【学校関係者評価を実施する主な項目】

項目	中間評価
笑顔のある安全・安心な学校づくり	新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月より5類感染症に移行したが、手洗い、換気等の感染症対策を引き続き行い、健康管理に努めた。防災訓練や不審者対応訓練を実施し、緊急時に落ち着いて素早い行動ができるよう全教職員で具体的な防災対策や防犯対策を確認した。
卒業後を見据えた、継続性・系統性を考慮した教育活動の推進	自立活動の指導等において、学年会等を通して教職員間で指導目標や内容について共有を図り、改善をしながら指導を進めることができた。「自立活動だより」等で自立活動に関して保護者や職員のニーズに応じた情報を伝え、将来を見据えた課題設定を保護者と共にできるようにしたい。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止に関する取組	毎月の勤務時間を把握し、時間外勤務が多い教員には体調や勤務状況などを確認した。「会議を行わない日」を設定し、授業準備の時間確保をした。月2回の定時退校日や電話対応時間の設定も引き続き行った。

